

# 水防活動を安全に行うために

## 水防活動ってなんだろう？

大雨が降ると、川から水があふれ、町が水びたしになってしまうことがあります。

そのため、大雨が降りそうなときは見回りをして川や堤防(ていぼう)を確認したり、避難(ひなん)の呼びかけをしたり、します。また、土をふくろに入れた土のうを積んで町が水につからないようにする活動などを行っています。



水防活動の訓練

## だれがやっているの？

水防活動は、地域の人が集まって水防団をつくり、行っています。団員さんは、ふだんは別の仕事をしています。地域の【消防団】が大雨の時などに【水防団】として活動することもあります。



## 水防活動で困っていること

現地はどうなってる？



町の様子を確認！  
となりの町の様子は？  
やることがいっぱい！



避難の呼びかけ

今の様子を伝える  
時間がないよお



土のう積み



【提供：九州地方整備局】

川の水があふれたら  
水防団も危ないよ！

大きな災害時には、目の前のことで手がいっぱいになります。そのため、十分に情報を伝えられないことがあります。

## 課題解決のための取り組み



となりの町で  
堤防がこわれそう！



危なくなる前に  
水防団もみんなも  
にげよう！！



【提供：関東地方整備局】

他の水防団や自治体から、それぞれの場所のひ害などの情報を教えてもらえると、まわりのことが分かるようになります。国総研では、水防活動に必要な情報(ひ害の様子・川の水位・降水量など)を集め・共有するツールの研究開発をしています。これにより、安全で効率的な水防活動のサポートなどが可能になります。